

施設名	長房ふれあい館
-----	---------

視点	評価項目	6月		9月		12月		期末評価	指定管理者 自己評価(コメント)	
		所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課評価	指定管理者 自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	施設常駐職員:2人/日	B	シフト表に基づき、常時2名以上の勤務体制をとっている。	B	常駐職員が対応出来ない場合は、臨時職員に依頼している。	B	文化祭等の催事日には、それに見合った職員の数配置をしている。	B	シフト表に基づき、常時2名以上の勤務体制をとっている。	
	施設安全点検・定期清掃の回数 1回/年	B	4月: 自家用電気工作物点検 6月: 風呂水質検査、空調・給湯設備定期点検定期清掃	B	7月: エントランスホール自動ドア定期点検、定期清掃点検、除草、給湯器定期点検、自動ドア点検 8月: 自家用電気工作物点検 9月: 消防用設備点検	B	10月: 自家用電気工作物点検、定期清掃 11月: 定期清掃、除草 12月: 浴場水質検査、自家用電気工作物月次検査	B	仕様書に基づき、点検・清掃している。	
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例: 銀行口座】	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例: 独立した会計帳簿】	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)	B	固有の銀行口座有り。 (みずほ銀行)
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例: 独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納(徴収)事務委託契約書・銀行口座】	B	利用料は利用前に料金を徴収し、領収書を交付。領収書の控え有り。	B	利用料は利用前に料金を徴収し、領収書を交付。領収書の控え有り。	B	利用料は利用前に料金を徴収し、領収書を交付。領収書の控え有り。	B	利用料は利用前に料金を徴収し、領収書を交付。領収書の控え有り。
	収支計画が適正であること	B	事業計画や予算書に基づき適切に処理。	B	事業計画や予算書に基づき適切に処理。	B	事業計画や予算書に基づき適切に処理。	B	事業計画や予算書に基づき適切に処理。	
	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例: 事業計画書(人員配置計画)・事業報告書・研修報告書・実地調査】	B	欠員状態もなく、適切に配置をしている。外部研修にも積極的に参加させている。6月に救命講習受講。	B	欠員状態もなく、適切に配置をしている。外部研修にも積極的に参加させている。	B	欠員状態もなく、適切に配置をしている。外部研修にも積極的に参加させている。	B	欠員状態もなく、適切に配置をしている。外部研修にも積極的に参加させている。
給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例: 給与規程・賞金台帳】		B	就業規定に基づき、適切に行っている。	B	就業規定に基づき、適切に行っている。	B	就業規定に基づき、適切に行っている。	B	就業規定に基づき、適切に行っている。	
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例: 第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	基本的には現場職員で対応しているが、専門分野に関しては市との協議の上、委託している。	B	基本的には現場職員で対応しているが、専門分野に関しては市との協議の上、委託している。	B	基本的には現場職員で対応しているが、専門分野に関しては市との協議の上、委託している。	B	基本的には現場職員で対応しているが、専門分野に関しては市との協議の上、委託している。	
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	開館日数 335日/年(休館日: 毎月第2・4日曜日、年末年始)		規定通り開館している。		規定通り開館している。		規定通り開館している。	B	規定通り開館している。	
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	規定通り、8:30~21:45まで開館しており、9:00~21:30が利用時間である。	B	規定通り、8:30~21:45まで開館しており、9:00~21:30が利用時間である。	B	規定通り、8:30~21:45まで開館しており、9:00~21:30が利用時間である。	B	規定通り、8:30~21:45まで開館しており、9:00~21:30が利用時間である。	
	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例: ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)・実地調査】	B	規定に基づき、ふれあい館、ならびに事務局で管理・情報共有している。	B	規定に基づき、ふれあい館、ならびに事務局で管理・情報共有している。	B	規定に基づき、ふれあい館、ならびに事務局で管理・情報共有している。	B	規定に基づき、ふれあい館、ならびに事務局で管理・情報共有している。
		修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例: 事業報告書・実地調査】	B	所轄課との協議に基づき、適宜対応している。	B	所轄課との協議に基づき、適宜対応している。	B	所轄課との協議に基づき、適宜対応している。	B	所轄課との協議に基づき、適宜対応している。
を施設の方策が図られているか、利用者数の増加等	利用者数 90,000人/年		4月: 7,277人 5月: 7,558人 6月: 7,560人		7月: 6,814人 8月: 6,497人 9月: 9,511人		10月: 12,987人 11月: 7,244人 12月: 6,175人	B	H27年度の利用者数は93,754人で前年度より4.5%増。	
	利用者満足度 90%/年			A	8月に満足度調査を実施。全般的な満足度では9割以上が満足している。			A	8月に満足度調査を実施。全般的な満足度では9割以上が満足している。	
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか 【確認資料例: 相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	意見箱の設置、並びにそれに対する回答。	B	意見箱の設置、並びにそれに対する回答。	B	意見箱を設置するなど、利用者との相談等に迅速・丁寧な対応をしている。また、法人として苦情受付も体制を整えている。	
い基づき、業の具て達成目業が明らに	利用者の交流を図る行事開催1回/年	B	4月: 「ザ・クラスメイツ」と歌おう 5月: 「ドリームミュージックみんなであそぼう」 6月: 琴伝流琴の会ふれあい演奏会	B	7月: 「ドリームミュージック」 8月: カラオケ大会 9月: 八王子ギターアンサンブル	B	10月: 文化祭 11月: 「アコーディオンと歌おう」 12月: 「オカリナふれあいコンサート」	B	毎月1回のイベントと10月に文化祭を開催している。	
	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	A	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市環境マネジメントシステム(LAS-E)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか 【ヒアリング等で確認】	B	デマンド監視システムの利用(使用電力量の見える化)	B	夏季の省エネ対策実施(冷房の温度管理、節水など)	A	ゴミの持ち帰りの徹底(文化祭等イベントで出たゴミの対応)	
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	防災訓練1回/年 実施			B	9月に利用者の協力を得て避難誘導訓練を実施。	B	防災用品の確認、ならびに管理。	B	9月に利用者の協力を得て避難誘導訓練を実施。	
	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例: マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】	B	規定に基づき、厳重に管理している。	B	規定に基づき、厳重に管理している。	B	規定に基づき、厳重に管理している。	
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制がとれていること	B	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例: 保険証券】	B	緊急連絡網の作成。	B	緊急時の役割担当の明確化。	B	緊急連絡網作成済み。緊急時の職員役割担当を明確化する。	

期末総合評価	B
所管課コメント	八王子市社会福祉協議会は、平成18年度から長房ふれあい館の指定管理者として、これまでの実績や社会福祉法人としての特性や経験を活かしながら、適正かつ安定した管理運営を行っている。事業運営や施設管理などは、協定どおりに業務全般を行っている。また、利用者満足度調査においては「全般的な満足度」の質問に対し、「大いに満足」が96.8%、「満足」が63.2%と高評価であり、多くの市民に満足度の高いサービスを提供している。さらに、平成27年度の利用者数は93,754人と前年度より4.5%増加しており、これは各種教室や講座のみならず、文化祭や七夕まつりなど地域の方々や交流できるイベントを実施し、新しい講座を企画・開催することで、新規利用者の獲得に力を入れている効果であるといえる。その他、デマンド監視システムの利用により「使用電力量の見える化」を行うとともに、各種イベント開催時に利用者に対して、ごみの持ち帰りの徹底させるなど、環境に配慮した施設の管理・運営が行われている。今後も長房ふれあい館の設置目的であるコミュニティ活動を通じた市民相互の親睦と高齢者の福祉の向上に向け、積極的な管理と効率的な運営を行うとともに、利用者サービスの拡充が図られることを期待する。